地域開発に関するJICA研修を３年ぶりに来日により実施
～2022年度課題別「中米統合機構加盟国向け道の駅による道路沿線地域開発」～

北海道開発局は、８月２９日から９月３０日まで、２０２２年度JICA課題別研修「中米統合機構加盟国向け　道の駅による道路沿線地域開発」コースに寒地土木研究所と連携して協力しました。

過去２カ年はコロナ禍により、各国とオンラインでつないで研修実施しましたが、今年度は３年ぶりの来日研修となり、中南米の７か国から１３名の研修員の受け入れを行いました。

国際室は、地域開発政策としての北海道総合開発計画に関する講義等を担当しました。研修員は、当局講義、寒地土木研究所による道の駅の講義、道の駅の見学、現地専門家の意見なども踏まえ、自国の現状を踏まえつつ道路沿線地域開発を進めるための実現可能性の高い内容をアクションプラン（道の駅設置・運営に向けた行動計画）に反映していました。

■研 修 名：2022年度課題別研修「中米統合機構加盟国向け道の駅による道路沿線地域開発」
■研修期間：２０２２年（令和４年）８月２９日～９月３０日
■研修内容：北海道総合開発（当局担当）、道の駅概論編・実践編（寒地土研担当）、道の駅見学等
■目　　的：主に北海道内の道の駅の設置・運営状況を参考としながら、道路沿線地域の開発計画が帰国研修員のイニシアティブにより立案・実施され、地域住民の所得向上ひいては地域間格差の是正に貢献すること
■参 加 者：日 本 側　受託機関　一般社団法人　北海道開発技術センター（dec）
　　コースリーダー　北海道大学非常勤講師　松田　泰明　氏
　　：研修員側　エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、ドミニカ共和国、グアテマラ　７カ国１３名

■研修概要

（１）講義の様子

今年度、当局が担当した３講義「北海道の概要」、「日本の行政システム」、「北海道総合開発の体制」はビデオ動画を活用し、事前の動画の視聴と対面による質疑応答をミックスした講義構成としました。研修員からは、全国より早く人口減少を迎えた北海道の対応、インバウンド増加や食品輸出額の増加の要因、地方分権改革などについての質問がありました。昨年度より１時間質疑応答時間を増やしましたが、制度の違いについての理解深化、帰国後の参考情報としての活用等のため、時間が足りなくなるほど活発に質問があり、非常に有益な質疑応答となりました。

北海道総合開発についての説明（渡部国際室長）

（２）道の駅見学

今年度は、主に道央圏の道の駅を見学しました。研修員はそれぞれ異なるタイプの道の駅の見学において、設置・管理運営方法、住民参加、６次産業化、地域資源活用、地域ブランディングなどについて積極的に情報収集していました。多くの研修員は、地域開発としての道の駅の活用について十分に理解していたため、各々が自国での適用を想定しながら、それぞれの道の駅を分析していると感じました。見学後の感想では、トイレの清潔さや維持管理状況等の施設面、飲食・物販等の品揃えや陳列状況、パッケージ等の事業運営面、道路交通状況や周辺環境等の立地面から参考になる等の意見が出ていました。

道の駅現地見学の様子

（３）アクションプラン（道の駅設置・運営に向けた行動計画）

９月２８日、各研修員からアクションプランの発表がありました。この日のために、日々の研修プログラム後に各自プレゼン資料を準備しており、いずれも自国の現状を踏まえ、道の駅の設置までの具体的な計画をまとめていました。特に、研修中に受講した各講義や道の駅の見学先について、応用可能な知識として分析を行っている内容は、学んだ内容が整理されており、何が有益であるかを知ることができ、帰国後に復習する際にも役立つことから、実現可能性が非常に高い内容であると感じました。

他方で、道の駅の設置後の運営から評価に至る部分については、比較的あっさりとした記述にとどまるなど、運営面の記述の充実があると更に良くなると考えられる発表も見受けられました。全体としては、帰国後の道の駅の設置実現に期待の持てる発表であったと感じました。

各国からの発表の様子

（４）閉講式

９月３０日に無事閉講式を迎え、研修員全員が修了証書を受け取ることができました。当局からは渡部国際室長から、帰国後の地域開発の取組に対するエールを送る閉講の挨拶を行いました。研修員代表からの挨拶では、研修員全員で作成した各国地域紹介と研修期間中の一コマを編集した動画のプレゼンテーションがあり、そのクオリティーの高さに驚かされました。研修員は、「本研修から多くの学びを得ることができ、心より感謝している」、「帰国後、上司に研修で得たことおよびアクションプランを共有し、プロジェクトを推進していく」と力強いコメントと共に帰国しました。本研修員の帰国後の努力によって、素晴らしい道の駅を設置・運営し、地域の発展を実現できることを願っております。

閉講式の記念撮影